

平成 30 年度医学院修士課程（公衆衛生学コース（1 年コース）
修了見込者用

特定課題の研究成果提出等マニュアル

医学系事務部総務課医学院教務担当

目 次

特定課題の研究成果提出手続き等	1
1. 特定課題の研究成果提出～学位授与までの日程	1
2. 特定課題の研究成果関係書類等	1
3. 特定課題の研究成果提出・審査等について	1
4. その他	2
医学院特定の課題についての研究成果提出・審査要項	3
各種様式	6
各様式記入例	9
特定課題の研究成果作成の手引き	13

特定課題の研究成果申請手続き照会・提出先

医学系事務部総務課医学院教務担当

TEL 直通 0 1 1 - 7 0 6 - 7 7 1 6

内線 7 7 1 6

FAX 0 1 1 - 7 1 7 - 5 2 8 6

E-mail: d-tanto@med.hokudai.ac.jp

特定課題の研究成果提出手続き等

※「特定課題の研究成果」により修了できる学生は、公衆衛生学コース（1年コース）に所属する学生のみです。他の学生は「修士論文」となるので注意すること。

1. 特定課題の研究成果提出～学位授与までの日程

- (1) 特定課題の研究成果及び各種書類の提出
- (2) 医学院教務委員会（審査委員選出）
- (3) 公開発表
- (4) 医学院教務委員会（修了審査）
- (5) 最終審査教授会
- (6) 学位記授与

修了期	特定課題の研究成果等提出期限	医学院教務委員会	公開発表	医学院教務委員会	最終審査教授会	学位記授与日
3月修了	1月11日(金)	1月中旬	1月31日(木)～2月6日(水) 別途照会予定※1	2月中旬	2月21日(木)	3月25日(月)

※1 11月頃 医学院教務担当より指導教員へ別途日程照会予定（4月入学者のみ）

2. 特定課題の研究成果関係書類等

- (1) 提出先：医学系事務部総務課医学院教務担当
- (2) 特定課題の研究成果等提出期限までに提出する書類
 - 特定課題の研究成果提出に係る指導教員承認書（様式1）…………… 1部
 - 特定課題の研究成果…………… 4部
 - 特定課題の研究成果内容の要旨（様式3）…………… 5部

<留意事項>

- ① 特定課題の研究成果の作成方法については、p13-19の「特定の課題についての研究成果作成の手引き」を参照すること。
- ② 特定課題の研究成果の表紙（様式2）については、特定課題の研究成果等提出期限までに別途医学院教務担当（d-tanto@med.hokudai.ac.jp）宛メール添付にて送付すること。
- ③ 公開発表終了後、特定課題の研究成果に修正が生じた場合は、修正後の特定課題の研究成果を簡易製本で1部、次の期日までに医学院教務担当へ提出すること。

修了期	3月修了
提出期限	2月27日（水）

(3) 公開発表における資料

配付用資料及び提示用資料（パワーポイント等による投影用）について、外国人留学生の「公開発表演習（共通コア科目[H28以前入学者]・必修科目Ⅱ[H29以降入学者]）」履修に配慮し、英文又は和文・英文併記により作成すること。
なお、資料の様式は任意とします。

- (4) 公開発表終了後、審査員主査が提出する書類（別途医学院教務担当から通知）
 - ・ 特定課題の研究成果審査報告書（様式4）
 - ・ 特定課題の研究成果審査の概要（様式5）

3. 特定課題の研究成果提出・審査等について

特定課題の研究成果の提出及び審査等に関しては、「医学院特定の課題についての研究成果提出・審査要項（p3-5）」として順次記載してあるので、必ず熟読の上、手続き等について遺漏のないよう留意すること。

4. その他

各種様式については、次のアドレスの「各種様式」からダウンロード願います。

<https://www.med.hokudai.ac.jp/graduate/yoshiki.html>

【参考】北海道大学大学院医学院ホームページ (<https://www.med.hokudai.ac.jp/>)
ホーム>>医学院>>在学生・修了生の方へ>>各種様式>>学位論文関係>>修士課程

なお、各種様式の記入例については、本マニュアル「各様式記入例 (p9-12)」として掲載しているので、参照の上、作成すること。



北海道大学
医学部医学科
大学院医学院
大学院医理工学院
大学院医学研究科

教養一覧 関連リンク 採用情報 アクセス お問い合わせ 教職員・学生向け 情報の取扱いについて

お知らせ | 医学部医学科 | 医学院 | 医理工学院 | 医学研究科 | 総合案内 EN

各種様式

[HOME](#) > [医学院](#) > 各種様式

学位論文関係 履修関係 学生異動関係・その他

学位論文関係

■ 修士課程

平成30年度医学研究科修士課程修了見込者用修士論文提出等マニュアル（平成30年6月14日掲載）	PDF
各種様式（平成30年1月24日更新）	MS Word
平成29年度医学院修士課程修了見込者用修士論文提出等マニュアル（平成29年10月25日掲載）	PDF
各種様式（平成29年10月25日掲載）	MS Word
平成29年度医学院修士課程(公衆衛生学コース(1年コース))修了見込者用特定課題の研究成果提出等マニュアル（平成30年1月24日更新）	PDF
各種様式（平成30年1月24日更新）	MS Word

医学院特定の課題についての研究成果提出・審査要項

平成29年 4 月13日

医学院教授会決定

北海道大学大学院医学院（以下「本学院」という。）規程第11条第2項の規定における特定の課題についての研究成果（以下「特定課題の研究成果」という。）の提出及び審査に関しては、関係諸規程に定めるもののほか、この要項の定めるところによる。

1. 特定課題の研究成果提出に係る提出書類

特定課題の研究成果の審査を受けようとする者は、指導教員の承認を受けて特定課題の研究成果及び特定課題の研究成果内容の要旨を提出する。

2. 特定課題の研究成果等の提出期限

特定課題の研究成果等の提出期限は、北海道大学学位規程の運用に関する細則第2条に規定されている期日ごとに学院長の指定する期日までとする。

3. 特定課題の研究成果等の提出部数

特定課題の研究成果提出者は、指導教員の承認書（様式1）を添えて次の部数を提出する。

- (1) 特定課題の研究成果 4部（正本1部、副本3部）
- (2) 特定課題の研究成果内容の要旨 5部

4. 特定課題の研究成果等の体裁

特定課題の研究成果等の体裁は、次のとおりとする。

- (1) 特定課題の研究成果は、日本文又は英文とし、A4判縦長に表紙（様式2）を付け、左綴じとする。
- (2) 特定課題の研究成果内容の要旨（様式3）は、3,000字以内、英文の場合は1,200ワード以内とする。
- (3) 特定課題の研究成果本文及び特定課題の研究成果内容の要旨は、パソコン又はワードプロセッサ等により作成するものとし、活字の大きさは、12ポイント程度で1ページあたり40字／40行を目安とし、ページを下中央に付す。

5. 審査委員

特定課題の研究成果の審査委員は、3名以上（主査1名及び副査2名以上）とし、主査は、論文提出者が所属する教室の医学院学位論文指導教員の資格等に関する申合せ第

2に定める指導教員をもって充て、副査は、主査と異なる本学院の教授、准教授又は講師をもって充てる。なお、病院の教員については、本学院を担当する者に限る。

また、審査をするうえで必要と認めるときは、上記の審査委員に次に掲げる者を加えることができる。

- (1) 連携講座又は連携分野の客員教授及び客員准教授
- (2) 大学院医学研究院寄附分野の特任教授及び特任准教授
- (3) 他の研究科等の研究指導を担当する教授、准教授又は講師
- (4) 他の大学の大学院又は研究所等の教授、准教授又は講師
- (5) 大学院医学院教授会（以下「教授会」という。）が特に認めた者

なお、審査委員は、指導教員が推薦する審査委員候補者を参考に、大学院医学院教務委員会（以下「教務委員会」という。）が選出し、教授会に報告する。

6. 特定課題の研究成果発表会及び審査

特定課題の研究成果提出者は、特定課題の研究成果審査のため、公開の論文発表会において特定課題の研究成果の発表を行う。特定課題の研究成果発表会の日時は、学院長が指定する。

審査委員は、特定課題の研究成果発表会において、当該発表者の司会進行を担当し、特定課題の研究成果を審査するうえで必要と認めたときは、特定課題の研究成果発表会以外においても、特定課題の研究成果提出者に特定課題の研究成果に係る口頭試問を課すことができる。

7. 審査報告

審査委員は、特定課題の研究成果発表会終了後、協議のうえ、審査報告書（様式4）に審査の概要（様式5）を添付し、学院長に提出する。

8. 合否判定等

学院長は、審査委員から提出された審査報告書とともに、特定課題の研究成果の合否の判定を教務委員会へ付託する。

教務委員会は、付託された特定課題の研究成果の合否の判定を行い、学院長に報告する。

上記の報告を受けて学院長は、修士課程修了の可否を判定する教授会において、当該修了予定者の修得単位と合わせて報告する。

9. 特定課題の研究成果の保存

修士課程修了者の特定課題の研究成果は、大学院医学研究院・大学院医学院・医学部図書館で保存し、請求に応じて閲覧に供する。

附 記

この要項は，平成29年4月13日から実施し，平成29年4月1日から適用する。

(様式 1)

平成 年 月 日

医 学 院 長 殿

指導教員

㊞

特定課題の研究成果提出に係る指導教員承認書

別添の特定課題の研究成果につきましては，下記学生に対して私が研究指導の上，特定課題の研究成果として提出することを承認したものであります。

記

特定課題の研究成果提出者

学生番号

氏 名

特定課題の研究成果題名

「

」

(様式2)

平成 年 月

北海道大学大学院医学院

修士課程公衆衛生学コース

特定課題研究

特定課題名

「

」

提出者：

所属教室：

指導教員：

(様式3)

特定課題の研究成果内容の要旨

修士の専攻分野の名称 修 士 (公衆衛生学) 氏名

特 定 課 題 名

「

」

各様式記入例

平成 年 月 日

指導教員 ○ ○ ○ ○ (印)

別添の特定課題の研究成果につきましては、下記学生に対して私が研究指導の上、特定課題の研究成果として提出することを承認したものであります。

特定課題の研究成果提出者

学生番号 5 2 〇 〇 3 〇 〇 〇

氏 名 ○ ○ ○ ○

特定課題の研究成果題名

[illegible]

(△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△)

※ 題名が英文の場合は、() 書きで和訳をつけてください。

削除

平成 年 月

北海道大学大学院医学院

修士課程公衆衛生学コース

特定課題研究

特定課題名

[illegible][illegible]

※ 題名が英文の場合は、() 書きで和訳をつけてください。

また、特定課題の研究成果提出後、この表紙のみ医学院教務担当へメールで送付してください。

(医学院教務担当 E-mail: d-tanto@med.hokudai.ac.jp)

提出者： ○ ○ ○ ○

所属教室： ▽▽▽▽▽▽▽▽教室

指導教員： ○ ○ ○ ○

指導教員名の後ろに「教授」等の役職を
付けないこと。

(様式 3)

特定課題の研究成果内容の要旨

修士の専攻分野の名称

修 士 (公衆衛生學)

氏名 ○ ○ ○ ○

變更不要

特定課題名

[illegible][illegible]

※ 題名が英文の場合は、() 書きで和訳をつけてください。

- * 内容の要旨は、日本語の場合は 3,000 字以内、英語の場合は 1,200 ワード以内とし、**A4判2ページ**にまとめてください。
- * 用紙の余白は、左 25mm、右 20mm、上 20～25mm、下 20mm を目安としてください。
- * 文字は 12 ポイント程度で 1 行 40 文字、40 行を目安としてください。

●特定の課題についての研究成果作成の手引き●

(公衆衛生学コース一年コース対象)

1. 特定の課題についての研究成果とは

- 1) 特定の課題についての研究成果物の評価にあたっては、申請者が修了後に行政や臨床など活躍する場での公衆衛生に関する実務能力を身につけたことを確認します。従って、選択した課題の意義、論理的な展開、そこから導き出される成果物と、研究成果から期待される波及効果を記載することが重要です。

- 2) 公衆衛生学コースでは以下の能力（コンピテンシー）を修得することを課程修了の目標に据えています。

- ・ 社会全体ならびに人々の健康と生活、安全にとって必要なシステム・ルールを理解できる。
- ・ 社会全体ならびに人々の健康と生活、安全の実態とその維持・向上に必要な情報を入手できる。
- ・ 入手した情報を科学的に吟味解釈し、結果を関係各所に発信できる。
- ・ 情報が不足している場合には、自らその情報を得るために行動できる。
- ・ 得られた結果から、必要な対策を立案できる。
- ・ 対策を実施するために関係各所と必要な調整ができる。
- ・ 実施した対策の結果を評価し、次の対策につなぐことができる。

そのため、特定の課題においては上記の能力が身についたことを確認できるようまとめていただいた成果に基づき評価します。成果のまとめ方は次のものに限りませんが、例えば、医療政策提言書、選択テーマの系統的レビュー、臨床研究プロトコールならびに同意説明書の作成などが考えられます。

- 3) 本文は、和文または欧文は問いません。

- 4) 本文が和文の場合は和文の主題目を、本文が欧文の場合は欧文の主題目を付けてください。なお、主題目が欧文の場合は和文の副題目を括弧内に記載してください。

例：【本文が和文の場合】

〇〇〇における〇〇した〇〇に関する研究

【本文が欧文の場合】

Studies on 〇〇〇 〇〇 at the 〇〇 〇〇 in 〇〇

(〇〇〇における〇〇した〇〇に関する研究)

2. 特定の課題についての研究成果の構成

次の各項目を含めて構成します。

ページ番号は下中央に付すこととし、「発表論文目録および学会発表目録」を第1ページとして、以下順番に付けて下さい。本文は、1 ページ 40 行、1 行 40 字を目安とし、12 ポイント程度の明朝体で作成して下さい。

A) 表紙

様式2を記入例（本マニュアル p 1 1）に従い作成の上、表紙として下さい。

平成 年 月	
北海道大学大学院医学院	
修士課程公衆衛生学コース	
特定課題研究	
特定課題名	
「□□□□□□□□□□□□□□」	
(△△△△△△△△△△△△△△△)	
提 出 者：	○ ○ ○ ○
所属教室：	▽▽▽▽▽教室
指導教員：	○ ○ ○ ○

課題名が英文の場合は、() 書きで和訳をつけること。

B) 目次

各項目の名称（場合によっては各項目のサブタイトルも含む）を記載するとともに、それぞれが始まるページ数を記載して下さい。項目立ては、課題により異なります。

* 作成例 *

目 次

発表論文目録および学会発表目録	1 頁
緒言	〇頁
略語表	〇頁
(略)	
謝辞	〇頁
引用文献	〇頁

C) 発表論文目録および学会発表目録

論文については、著者名・論文タイトル・雑誌名・発表年（掲載済みの場合には、巻数・ページなども含む）を記載するとともに、アクセプトの場合は発表予定などを記載して下さい。また、投稿中の場合はその旨を記載して下さい。学会発表は、全国規模の学会と国際学会での発表に限り、発表者名・演題名・学会名・日時・場所などを記載して下さい。

* 作成例 *

発表論文目録および学会発表目録

本研究の一部は以下の論文に発表した。

1. ○○○○（著者名）共著の場合は全員の氏名を記載
○○○○○○○○○○○に関する研究（論文タイトル）
学術雑誌名，巻数・ページ，（発表年）
2. ○○○○（著者名）
○○○○○○○○○○○に関する一考察（論文タイトル）
学術雑誌名，巻数・ページ，（発表年）
3. ○○○○（著者名）
○○○○○○○に関する○○学的研究（論文タイトル）
学術雑誌名，巻数・ページ，（発表年）

本研究の一部は以下の学会に発表した。

1. ○○○○（発表者名）共同発表の場合は全員の氏名を記載
○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究（演題名）
学会名（第○回○○○学会），日時・場所
2. ○○○○（発表者名）
○○○○○○○○○○○○○○○に関する一考察（演題名）
学会名（第○回○○○学会），日時・場所
3. ○○○○（発表者名）
○○○○○○○○○○○○○に関する○○学的研究（演題名）
学会名（第○回○○○学会），日時・場所

D) 緒言

①選択した課題の背景（社会的な重要性・意義，テーマに関連した事項の説明など），②テーマに関連して，何がわかっていて何がわかっていないのか，③前2項を踏まえて，この成果物の意義と期待される波及効果，などの点を中心に詳細に記載して下さい。

[注意]

テーマが複数存在していて，各テーマについて独立して記載する必要がある場合には，全体の緒言を記載した後，第一章，第二章，---というふうに分けて，各章の関連を論理的に説明して下さい。

E) 略語表

略語の使用は望ましくありませんが，やむを得ず使用する場合には，本文中で最初に使用する時にフルネームで記述し，括弧書きで略語を記載すること。略語表には本文で使用した略語をアルファベット順に一括して掲載し，各略語のフルネームを記載して下さい。

なお，フルネームの記載なし（略語表に記載の必要なし）で利用できる科学的略語は，Journal of Biochemistry (Tokyo)のInstructions to Authors (XII. TERMINOLOGY AND ABBREVIATIONS; 8. Accepted Abbreviations and Symbols: Table II) の項目を参照して下さい。

* 作成例 *

本文中および図中で使用した略語は以下のとおりである。

LCM laser capture microscopy

miRNAs microRNAs

UTR 3'-untranslated region

.

F) 謝辞

G) 引用文献

引用文献は、ハーバード形式に準じてください。すなわち、引用文献には番号を付さずハーバード形式に準じて本文中に引用元を記載して下さい。文献リストへの記載は、雑誌“Cell”に準じてください。引用文献が未掲載、投稿中、要約、私信などの場合は文献リストには記載せず、本文中にのみ記載してください。なお、日本語の文献については、英語の文献と区別することなく、同じように取り扱って下さい。

文献リストでは、著者の氏名順（英語の場合はアルファベット、日本語の場合は五十音順）、発行年順としてください。氏名及び発行年が同一の場合は、発行年の西暦のあとに「XXXXa」, 「XXXXb」などとアルファベットを付して区別してください。また、日本語の文献は英語の文献のあとに続けてください。

* 作成例 *

【本文中の文献引用】

・・・(本文)・・・と報告されている (Masuho et al., 2015a ; Jiao and Jones, 2015)。
種々のワクチンによる脳からのタウまたはA β ペプチドの除去は・・・(本文)・・・

【文献リスト（巻末）】

（英語の文献は著者名のアルファベット順・発行年順に記載する）

Cleary, J.P., Yin, D., Reuss, L., Dutton, G.J., Sondheimer, N.,
Lindquist, S., King, S.M., Cowan, W.M., Jessell, T.M., Zipursky, S.L. et al.
(2005). Natural oligomers of the amyloid- protein specifically disrupt
cognitive function. *Nat. Neurosci.* 8, 79-84. ※ 1

Dutton, G.J. (1980). *Glucuronidation of Drugs and other Compounds*. (Boca
Raton: CRC Press). ※ 2

Masuho, I., Ostrovskaya, O., Lramer, G.M., Jones, C.D., Xie, K., and Martemyanov,
K.A. (2015a). Distinct profiles of functional scrimination among G proteins
determine the actions of G protein-coupled receptors. *Sci. Signal.* 8, 118-123 ※
3

Masuho, I., Martemyanov, K.A., and Lambert, N.A. (2015b). Monitoring G protein
activations in cells with BRET. *Methods Mol. Biol.* 1335, 107 -113. ※ 3

Reuss, L. (2000). Basic mechanisms of ion transport. In *The Kidney: Physiology
and Pathophysiology*, Seldin, D., Giebisch, G., eds. (Beltmore,
U.S.A.: Lippincott Williams & Wilkins,), pp. 85-106. ※ 4

（日本語の文献は英語の文献の後に、著者名の五十音順・発行年順に記載する）

北野大地, 山田太郎, 本田一郎. (2005). アルツハイマー病の新しい治療法. *日本薬
理学雑誌* 125, 178-84

※ 1 引用元が雑誌・定期刊行物などの場合

※ 2 引用元が単行本全体の場合の記載方法

（著者名.（発行年）. 本のタイトル.（所在地：出版社）.）

※ 3 著者名と発行年が同一の場合の記載方法

※ 4 引用元が単行本の場合の記載方法

著者名.（発行年）. 章のタイトル. In 本のタイトル, 編集者名, ed.（所在地,
出版社）, 開始頁-終了頁.

○著者が 10 名以下の場合は著者名を全員記載し（例: Masuho, I., Ostrovskaya,
O., Lramer, G.M., Jones, C.D., Xie, K., and Martemyanov, K.A.）, 11 名
以上の場合は 10 名までを記載して, et al. をつける（例: Cleary, J.P., Yin,
D., Reuss, L., Dutton, G.J., Sondheimer, N., Lindquist, S., King, S.M.,
Cowan, W.M., Jessell, T.M., Zipursky, S.L. et al.）

- 掲載年は著者名の後に記載する。例：Yin, D., and Tuthill, D. (2000).
- 雑誌名は **Pub Med** の記載形式に従う。単語が省略形の場合はその後にピリオドを打つが、省略形でない場合はピリオドは不要。例：J. Exp. Med.
- 巻, 最初のページ-最後のページの順に表記する。なお, 巻の後ろにコンマを置き, 号の記載は不要。最初と最後のページ数は省略せずに記す。
例：191, 1423-1428.
- 「,doi～」や「PMID」などの情報の記載は不要。
- Web** サイトからの引用の場合は, その **URL** とアクセス日を記載すること。
なお, 引用物の著者名, タイトル, 掲載年に関する情報があれば, 可能な限り学術雑誌の論文引用に従って記載することが望ましい。